処理方法
Processing method

機密文書いろいろな処理方法

機密文書の様々な処理方法。そのメリット、デメリットとは？

機密文書の処理方法には、いろいろありますが、それぞれ①セキュリティ（紛失、盗難などの危険性はないか）②リサイクル（再生可能か）③事務効率（手間のかかる作業か、処理までの立合いにかかる労力はどのくらいか）④時間（排出から処理までにどれくらい時間がかかるか）を基に比較します。これらの項目がバランスよく、高い評価の処理方法を実践することが重要です。

オフィスシュレッダー

（直接、お客様がオフィス用シュレッダーで細断する）

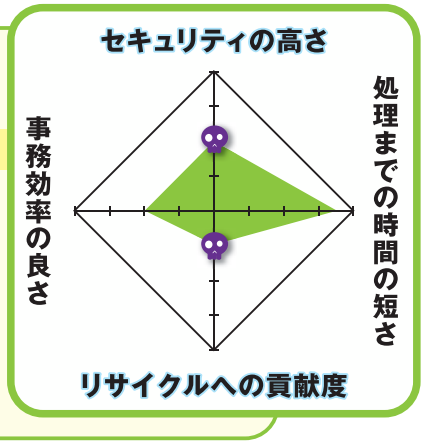
◯セキュリティは一番高い。
◯量が多いと作業が大変、清掃が大変。
◯紙片の大きさと回収コストの問題により、リサイクルルートに乗りにくい。
◯kgあたりのコストが実は一番高い。（人件費、ゴミ袋代、電気代）



焼却処分

（直接、焼却工場へ搬入して焼却する）

◯運送時の紛失、誤配送、盗難の危険性。
◯作業中の事故の危険性。
◯排出～搬入～処理までの立合。
◯再生は不可。
◯CO_2やダイオキシンの発生が問題視される。



直接溶解

（直接、製紙会社へ搬入して溶解する）
（お客様から機密文書の入った専用ボックスを回収し、製紙会社へ搬入、溶解する）

◯運送時の紛失、誤配送、盗難の危険性。
◯発生から処理までのリードタイムの長さ。
◯製紙会社の受入体制に左右され、タイムリーに処理できない。
◯再生品は板紙などに限定される場合もある。

